

第6学年 学級活動（1）学習指導案

日時 平成27年10月23日（金）6校時

児童 男子16名 女子19名 計35名

指導者 盛合 修二

- 1 個人課題 望ましい学級のために意欲的に話し合いを進める児童の育成
～学級を客観的に捉えさせる工夫を通して～

- 2 議題 10月の学級力をふり返ろう

- 3 児童の実態と議題について

- (1) 児童について

男女ともに仲が良く、折り合いをつけながら物事を進めることができる。例えば、係や当番を決めるときは、周りの様子を見てだれも希望しないとさっと手を挙げるたり、人数に制限があるときには「他のものにするから、どうぞ。」と譲る発言する児童も多い。

しかし、譲り合える良さの反面、本音を出し合ったり、自分の意見を述べずに先に発言した個人の考えに流されてしまったりすることもある。

- (2) 議題設定の理由

本題材は、小学校学習指導要領特別活動〔学級活動〕2内容「(1) 学級や学校の生活づくり」「ア学級や学校における生活上の諸問題の解決」に基づいて設定したものである。

目標に向け、日々の生活を見直し、より良い生活を目指すことは大切な活動である。また、学級で話し合い、取組を決め、協力して取り組むことは充実した学級生活を送るために必要不可欠であると考え、本主題を設定した。

- 4 評価規準

集団活動や生活への 意欲・関心・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
みんなで話し合う問題に関心をもち、学級生活をよりよくするために取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級生活のために、自分の考えをもって話し合い、よりよい方法を考え、判断し、協力して実践している。	みんなで学級生活をよくしていく大切さや、集団の意見をまとめる話し合いについて理解している。

- 5 指導計画

	主な活動内容	期日	指導・支援
事前	・9月の学級力の反省と、10月の取組について話し合う	10/1	・事前に議長と打ち合わせ、めあてや進行について確認する。 ・教師が9月の結果について発表し、話し合いを進めさせる。 ・必要に応じて話し合いの場面で助言する。
	・決まったことに取り組む	10/2 ～	・朝の会で関連させためあてで取り組み、必要に応じて声がけをし、帰りの会で取組について振り返りをさせる。
	・10月の取組についてのアンケート記入	10/19	・10月の取組を振り返り、自分だけではなく、学級全体はどうだったか客観的に記入させる。 ・学級生活をより良くするために自分の気持ちに正直に書くよう助言する。
本時	・10月の学級力の反省と、11月の取組について話し合う	10/23	・事前に議長と打ち合わせ、めあてや進行について確認する。 ・教師が10月の結果について発表し、話し合いを進めさせる。 ・必要に応じて話し合いの場面で助言する。

事後	・決まったことに取り組み	10/24 ～	・朝の会で関連させたためあてで取り組み、必要に応じて声がけをし、帰りの会で取組について振り返りをさせる。
----	--------------	------------	--

6 本時の指導

(1) ねらい

10月の取組について反省し、11月の取組について話し合う。

(2) 個人課題や共通課題との関わり

望ましい学級を目指し、意欲的に話し合いを進めるためには、まず、自分の学級を客観的にみることが必要であると考え、以下の取組を考えた。

☆①教師の主観や一部の児童の意見ではなく、一人ひとりにアンケートをとり、学級全体の考えとして客観的に学級の状態を知るための工夫。

☆②アンケート結果を数値化することにより月ごとの取組を比べやすくする工夫。

(3) 展開

話し合いの順序	児童の活動	留意点と評価
1 あいさつ	①日直の合図であいさつする。	
2 めあての確認	②話し合いのめあてを確認する。	
3 議題の確認	③議長の進行で確認する。	
10月の学級力をふり返ろう		
4 10月の学級力アンケートの確認	④学級力アンケート結果を確認をする。 ・発表の前に、8つの項目がどのように変化したか予想させる。 ・教師の発表を聞き、良かったことや落ち込んだことを自分のアンケートと比べながら確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師がアンケート結果を発表し、9月と比べながら10月の結果を伝える。 ☆①（個人） アンケートの数値化を図り比べやすくする。 ★視点①（意欲） 数値で示すことにより、前月と比べやすくさせることで話し合いに向けて意欲を図る。 ☆②（個人） 友達の様々な考えを知り、今の学級の状態を知る。 ★視点②（学び合い） 数字だけではなく、友達のさまざまな考えを交流することで学級の状況の捉え方を学び合う。
5 話し合い①	⑤結果の理由を考え、話し合う。 ・8つの項目の数字の理由を確認しながら、さまざまな友達の考えを知る。	
話し合い②	⑥来月取り組む項目を決定する。 ・来月取り組む項目について意見を出し、出された意見に対して、賛成意見や反対意見を発表する。 ・取り組む項目を決定する。（多数決）	<ul style="list-style-type: none"> ■10月のアンケートや話し合いをもとに理由を考えている。（関） ・なぜその項目に取り組みたいか訳まで引き出すようにする。 ・出された意見に対して、賛成意見や反対意見が出るように助言する。

